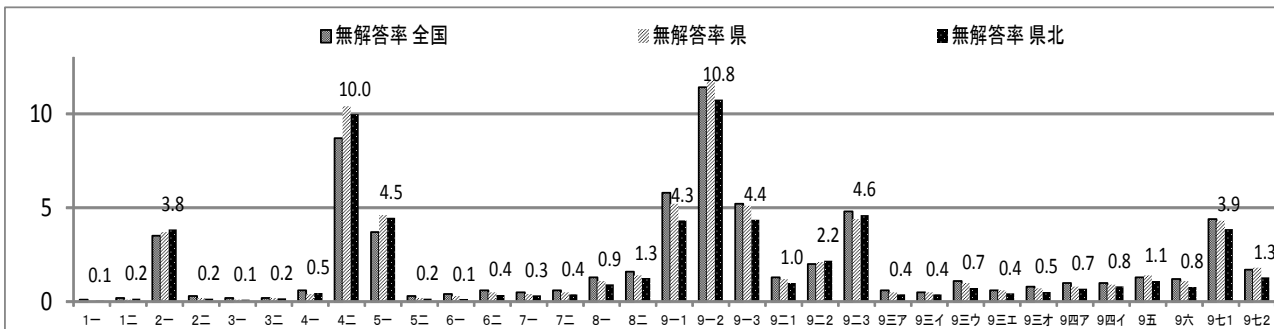
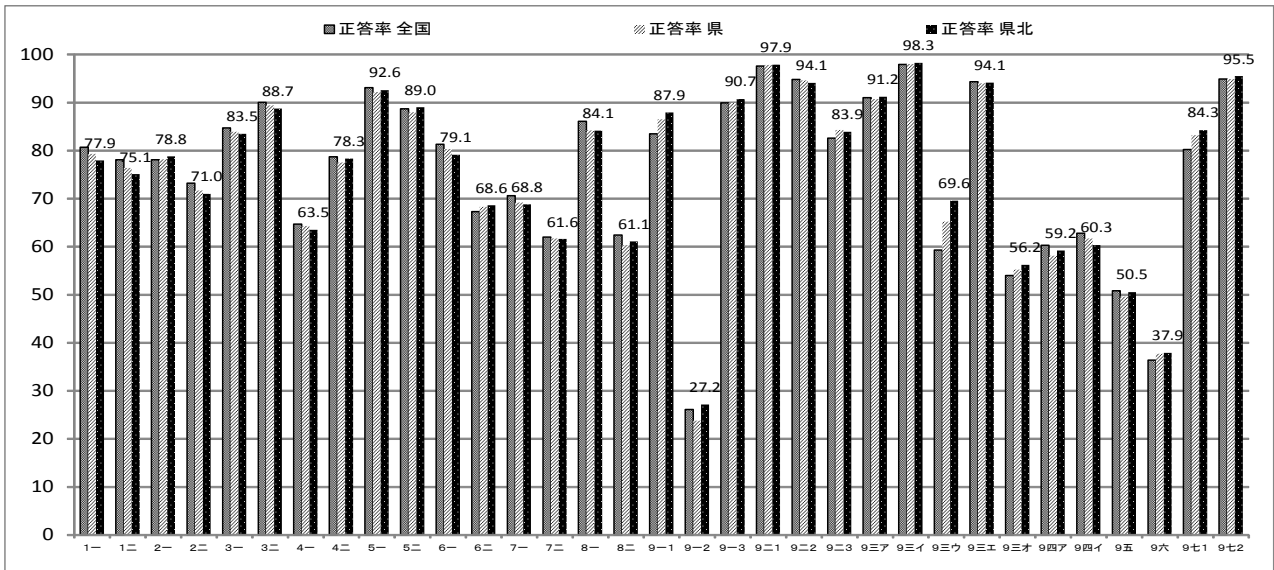


平成28年度全国学力・学習状況調査結果を授業改善に生かすために

国語（中学校）

県北教育事務所

〔中学校国語 A〕 ※ 各設問ごとの正答率・無解答率（値は県北地区）



**【結果】**

- 相手や場に応じた言葉遣いなどに気をつけて話すことは身につけている。 [3]
- 漢字の読み書きや言語についての知識・理解は身につけている。 [9]
- ※ 「ドクソウ的」の書く問題、「手塩にかけて」の語句選択問題は低い。
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の文の成分の照応や書写の内容に関して課題がある。 [9]五・六
- **文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くことに課題がある。 [4-1]**

平成28年度全国学力・学習状況調査 報告書の解答類型 ※ ( ) は報告書ページ

設問[4-1]は、文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くことができるかどうかをみる問題であるが、「引用と自分の意見」の見分けができずに誤答している割合が20%を超えている。(P35)

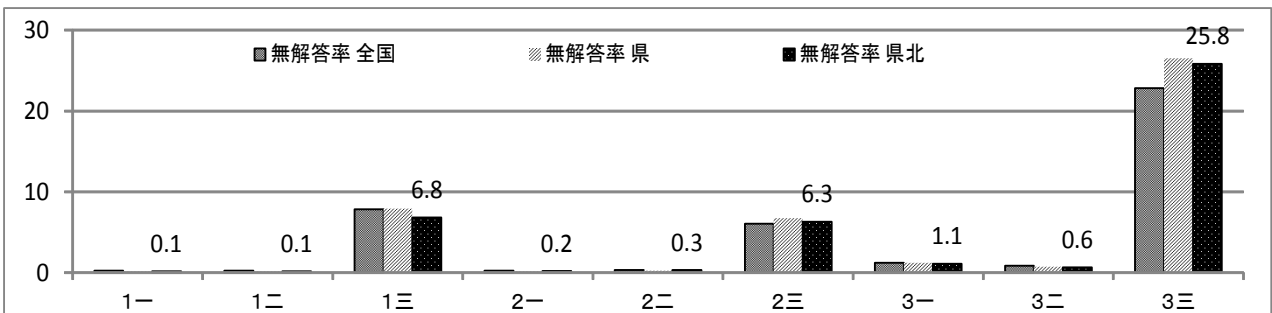
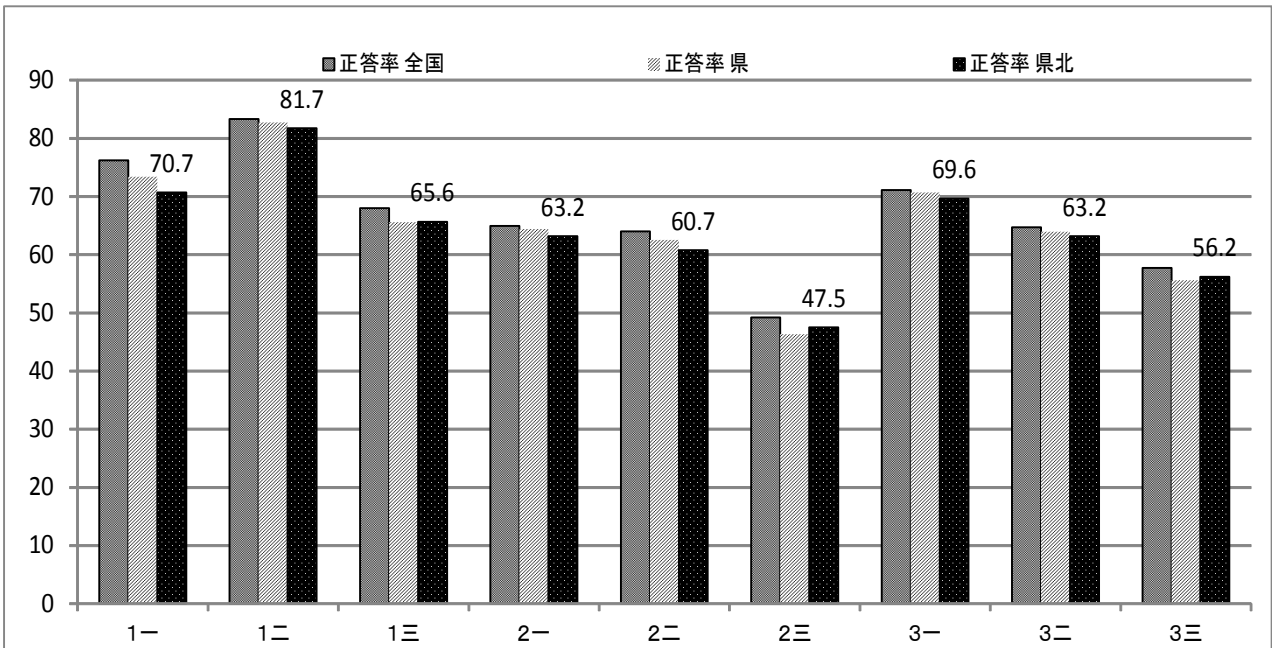
	4-1	1	2	3 (正答)	4
全国		6.7	21.5	65.0	6.3
県		6.6	21.6	64.3	7.1
県北		7.0	22.4	63.5	6.6

～ 弱点を改善する指導 ～

自分の伝えたい事柄が明確になっているかどうかについて、読み手の立場に立って確認する。

**【改善策】**  
 例えば、「わかりやすく説明しよう」(光村1年)の書いた文章について互いに感想を伝え合う学習において、次のような視点をもって指導することが考えられる。  
 ア 伝えたい事柄にふさわしい語句や文の使い方になっているか  
 イ 文や段落相互の関係は適切か  
 ※接続語を使って、内容を分けて書く等の工夫があるか

〔中学校国語 B〕 ※ 各設問ごとの正答率・無解答率（値は県北地区）



**【結果】**

- 文章の中心的部分と付加的部分を読み分け、要旨をとらえることは身につけている。  
1-1
- 目的に応じて必要な情報を読み取る力は身につけている。  
1-2
- 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることに課題がある。  
2-3

平成28年度全国学力・学習状況調査 報告書の解答類型 ※ ( ) は報告書ページ

設問2-3は、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることができるかどうかをみる問題であるが、「必要な本の探し方」を二つ書けずに誤答となっている割合が30%を超えている。(P63)

	2-3	1 (正答)	2	3	4
全国		49.8	33.2	1.3	2.0
県		46.3	35.2	1.2	2.0
県北		47.5	34.3	1.2	2.2

～ 弱点を改善する指導 ～

書かれている内容を正しく理解するとともに、新たな疑問や課題の有無について吟味する。

**【改善策】**

- 例えば、「調べたことを報告しよう」(光村1年)のレポートを読み合って助言し合う学習において、次のような項目を指導することが考えられる。
- ア 互いの感想を交流して疑問点を出し合い、新たな課題を設定するように指導する。
- イ 情報収集にあたって学校図書館を利用する際には、目的に照らして必要な本や資料を探すことができるように指導する。